

日本緑化工学会 シンポジウム

「海岸林再生の現状と課題」



2011年3月11日に発生した巨大地震によって千年に1度の確率と言われる大津波が発生し、太平洋沿岸の海岸林に未曾有の被害をもたらしました。多くの海岸林が被害を受けた後で、様々な検証がされていくなか、改めて津波抑制効果や飛砂防止効果、漂流物捕捉効果、防風抑制効果、景観効果などの海岸林が有する役割が注目され、海岸林の大切さが再認識されるようになりました。

日本緑化工学会では、防災機能を持たせた強い海岸林をつくるために必要となる植栽盛土について、現状とその方策、行政関係者からの報告を7名のパネラーによる発表後、参加者との討論を行うことで共通認識を深めて参りたいと思います。

日時

平成27年7月11日(土) 13:00～13:30 受付

場所

国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 310教室

プログラム

- 13:30～13:35 あいさつ(日本緑化工学会 会長 柴田昌三)
- 13:35～13:40 趣旨説明(日本緑化工学会 防災緑化研究部会長 阿部和時)
- 13:40～14:00 海岸林の現状と将来像(東京大学名誉教授 太田猛彦)
- 14:00～14:20 津波による海岸林の被害と海岸林再生で盛土をする理由
(国立研究開発法人 森林総合研究所 東北支所 坂本知己)
- 14:20～14:40 千葉県の海岸盛土造林と多樹種植栽の取組み(千葉大学 小林達明)
- 14:40～15:00 陸前高田での海岸防災林盛土造成試験地における成功に向けた取組み
(シオグリーンテック株式会社 長谷川秀三)
- 15:00～15:10 休憩(ディスカッションでの話題アンケート回収)
- 15:10～15:25 盛土を伴う海岸防災林復旧工事と植栽までの手順
(仙台森林管理署海岸防災林復旧対策室 村上卓也)
- 15:25～15:40 福島県の海岸林復興の現状と課題(福島県農林水産部森林保全課課長 鈴木明)
- 15:40～15:55 宮城県の海岸林復興の現状と課題(宮城県農林水産部森林整備課課長 高橋壮輔)
- 15:55～16:00 休憩
- 16:00～16:30 討論(コーディネーター 東京都市大学 吉崎真司)

参加料

無料(会場定員の160人に達しましたら受付を終了させていただきます)

申込みフォーム

<http://goo.gl/forms/Nn6vqBCHNA>

企画・問合せ

日本緑化工学会 防災緑化研究部会長 阿部和時
(日本大学生物資源科学部)

企画事業部会長 大藪崇司

(兵庫県立大学緑環境景観マネジメント研究科) takashi_oyabu@awaji.ac.jp

後援

国土交通省、環境省、林野庁、宮城県、福島県、公益社団法人国土緑化推進機構、
公益社団法人宮城県緑化推進委員会、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会、日本林業技士会

